

✿中学3年生 修学旅行に行ってきました①✿

10月26日(月)～30日(金)に修学旅行に行ってきました。お天気もほとんど崩れることはなく、4泊5日の日程を笑顔と共に無事に終えることができました。

修学旅行の最初の2日間は立命館アジア太平洋大学(APU)で、留学生たちと活動を行いました。あらゆる国からの留学生から、様々な国の文化について学んだり、留学生にサポートしてもらいながら、ディスカッションや共同作業を通して、プレゼンテーションを行ったりと盛りだくさんの活動を行いました。

長崎での平和学習では、実際に被爆された方からのとても貴重なお話を聞くことができました。その後のフィールドワークでも、原爆の恐ろしさや平和の大切さを今に伝える場所を訪れ、平和について実感を持ちながら考える機会となりました。

班ごとに行程を考えた長崎市内や、ハウステンボスでの班別自主行動では、中学3年生らしい笑顔をたくさん見ることができました。思いきり満喫できたようです。

では生徒の書いたコメントで修学旅行を振り返ります。

DAY 1: 羽田空港→大分空港→APU

SENZOKU TIME

USA キャンプの時より1人で話す時間が長く、また内容も以前よりコンパクトに分かりやすくてきたと思う。リーダーたちのプレゼンテーションは、迫力があり、原稿をみるのではなく、ほとんどがアドリブだったのですごいと思った。英語を話そうとする気持ちが伝わった。



EXPLORE THE WORLD

本当に日本とは違う国ばかりで、食事や挨拶や言語など本当に違うことがいっぱいなんだと思った。それぞれの国にも、伝統的な食べ物や衣装があり、日本と同じなんだと思った。ベトナムでのバイクの量にはびっくりした。バングラデシュの国旗が日本と似ていて、同じみたいで少し親近感がわいた。

DAY 2: APU→ホテルに戻ってプレゼンテーション本選・グローバルタレントショー・修了式

APUでのプログラムを終えて意識が変わったこと、新しく気づいたこと

はじめはいろんな偏見を持っていたり、英語を話して伝わるかなとか不安しかなかったけど、世界でいろいろな人種がいる中でいろいろな文化を受け入れる大切さを知った。また、いろんな人と仲よく話すためにはやっぱり英語は大切だと思った。

単語が分からなくても向こうが汲みとってくれることが多くてとても助かった。意外と意見交換ができた。発音がよくなった(?)。留学生と話すのが楽しかった。



DAY 3: 平和公園→長崎原爆資料館（被爆者体験講和）→原爆落下中心地→碑めぐり→平和式典@平和公園

被爆体験講話を聞いて

永野さんの講話を拝聴して、被爆された方々は私が想像する以上の苦しみを長い間感じてきたのだなと思いました。また、改めて、戦争は誰かを幸せにすることは決してないけれど、多くの人々に苦しみや悲しみを与えるのだと思いました。これから日本でまた戦争が始まりそうになったりした時には、他人ごとと思わず、声に出してそのことを伝えたいです。

心に残っていることは：「家族は本当に大事」「命は大切」

「戦争がなければ人は死ななかった」ということで、戦争の悲惨さがひしひしと伝わってきました。「平和」だから今私たちが幸せに生活しているということを噛みしめて生きていきたいです。

原爆資料館での感想

写真や知識ではなく実際に真っ黒に焦げた米や服、ひしゃげたガラスびんをみると原爆のむごさや威力の大きさを思い知った。特に11時2分で止まっている時計を見ると原爆で被害を受けた人や物の時間がすべてその時で止まり、動いていないような切ない気持ちになった。また、すでに死んでしまっている兄弟を背負った10才の男の子が火葬場の前で歯を食いしばりながら立ちつくしている写真に、こんなに小さな子も大人でも耐えきれないような苦痛を感じていたのかと思い心を強く揺さぶられた。

長崎平和フィールドワーク（平和式典）

心に残ったことは：「平和への一歩は、人の痛みを知ること」「唐と日本はとても親しい」

長崎では、キリスト教は迫害を200年ほど受けていたのに、現在までキリスト教が消えていないことがすごいなと思った。50tもある天主堂の鐘楼が、熱線・爆風のみで30mもとんでしまうほど原爆の威力があることに驚いた。防空壕が現在は石で囲われていたが、当時は土だけでできていたのだと考えると、とても恐ろしいと思った。

心に残ったことは：「戦争」

戦争のためにすべての力をつかうという国家総動員法というものがとても印象に残りました。今回話して下さった人は国民学校に通っていた方で、三輪車の金属部分をとられたり、遺品が送られてくるのを迎えたりする体験をしたと言っていた。とても衝撃的だった。また、実際に動いたり傾いたりした建物を見て、計算したりしたことで、原爆の威力を改めて実感した。さらに、医学的な観点からの映像を見たことで、より明確な被害を考えたりすることが出来た。また患者を最後まで診ようとする医者之苦労が理解できた。



DAY 4: 長崎班別自主行動 (+ ハウステンボスイルミネーション)

班別自主行動を通じて学んだこと・得たこと

長崎の人の優しさ感動しました。観光客を受け入れる態度はすごく大切だと思いました。東京オリンピックがあるので私も長崎の人を見習いたいです。また、急ぎょ時間やルートの変更があってもかかわらず、時間通りにゴールに到着することができました。(臨機応変に対応することを学べた)

自由型だったのでみんなで意見を言い合ったり話したりしながら見学できました。「なんでだろう」「この後どうなったのだろう」と想像を働かせることで物事により興味を持てることを学びました。また積極的にコミュニケーションをとった方が楽しいと思いました。(笑)



生徒の考えた行程を一部ご紹介します☆

行程の例：長崎歴史文化博物館→シーボルト記念館→坂本龍馬之像→眼鏡橋→長崎新地中華街（昼食）→孔子廊・中国歴代博物館→グラススカイロード→グラバー園

行程の例：グラバー園→唐人屋敷跡→長崎新地中華街（昼食）→出島→（長崎公園）→長崎歴史文化博物館

DAY 5: ハウステンボス園内班別自主行動→福岡空港→羽田空港

自主行動で心に残っていること：ハウステンボスの風景

私は小4までオランダに住んでいたためハウステンボスがとっても楽しみだった。行ってみると風車や運河、家の雰囲気の本場みたいだったので興奮した。

